

平成 26 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立豊里小学校 学校協議会

1. 総括についての評価

今年度の学校の自己評価は概ね妥当である。

児童や保護者アンケートの結果も良好で、学校の教育活動が肯定的に捉えられていることがわかる。学力・運動能力ともに満足のいく結果ではないが、数値に表れる結果だけに左右されるのではなく子ども達が人として健やかな成長を遂げることに尽力してくれていることがわかる。「豊里のこども」として胸をはれるようなオンリー1の教育を更に推進してほしい。

2. 年度目標ごとの評価

【視点：学力の向上】

①平成26年度末の学校アンケートにおける「算数の授業はわかりやすい」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を75%以上にする。

（カリキュラム改革関連）

○達成状況の評価に関しては妥当である。

数は少ないが、学習を肯定的にとらえることのできていない児童に対する対応を継続してしっかり行ってほしい。

【視点：道徳心・社会性の向上】

②平成26年度末の学校アンケートにおける「しっかりとあいさつや返事をしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を75%以上にする。

（カリキュラム改革関連）

③平成26年度末の学校アンケートにおける「学校のきまりを守っている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を75%以上にする。

（カリキュラム改革関連）

○達成状況の評価に関しては妥当である。

児童の自己評価は否定しないが、「しっかりと」となると見守り活動で感じるあいさつ率は3割程度である。さらに指導の継続をお願いしたい。「豊里っ子」宣言のような、豊かな児童の心を育む取り組みや指導が大切だと考えている。さらに深化継続してほしい。

【視点：健康・体力の保持増進】

④平成26年度末の学校アンケートにおける「体育の時間や休み時間にしっかり身体を動かしている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を75%以上にする。

（カリキュラム改革関連）

⑤平成26年度末の学校アンケートにおける「給食を残さずに食べている」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を75%以上にする。

（カリキュラム改革関連）

○達成状況の評価に関しては妥当である。

体育や健康に関しての児童の意識は好意的である。残念ながら、意欲と結果が伴っていないが、子ども達が元気に生き生きとした学校生活を送っていることが何よりである。

「食育」の指導の影響か《朝食を食べない児童》が減少し、それが学力にも大きな影響を与えていると考えられる。継続して家庭との連携をお願いする。

3. 今後の学校運営についての意見

学校の状態が落ち着いているのは、教職員が一体となった取り組みが功を奏した結果であり評価することができる。学力テスト・体力テストともに高い評価結果はでていないが、あまり数値ばかりにこだわる必要はない。学校に落ち着きがあり、子ども達が毎日楽しく笑顔で登校できる学校づくりが一番である。「豊里のこども」として胸をはれるようなオンリー1の教育を更に推進してほしい。